

平成 28 年 5 月 30 日 種苗生産④ ～稚ナマコになりました～

平成 28 年 4～5 月に産卵・ふ化した幼生は、エサをたくさん食べて順調に大きくなりました。そして、生まれてから 2 週間後には「後期アウリクラリア幼生」、5 月末には無事稚ナマコになりました（写真 1）！！

大きさ 1mm 足らずと小さいながらも、稚ナマコは親と同じ生活スタイルになります。おそらく、海では岩などに付着して、生活していると考えられます。一方、飼育室では、たくさんの板を水槽に並べ（写真 2）、そこに稚ナマコを付着させて、放流サイズになるまでの数ヶ月間育成します。

ではエサは？この小さな稚ナマコたちは何を食べていると思いますか？？

それは次回、お話ししたいと思いますので、みなさん考えてみてくださいね。



写真 1：稚ナマコ

左側が口になります。

後方（右側）から長く伸びている管足が、命綱のような役目をしているようです。

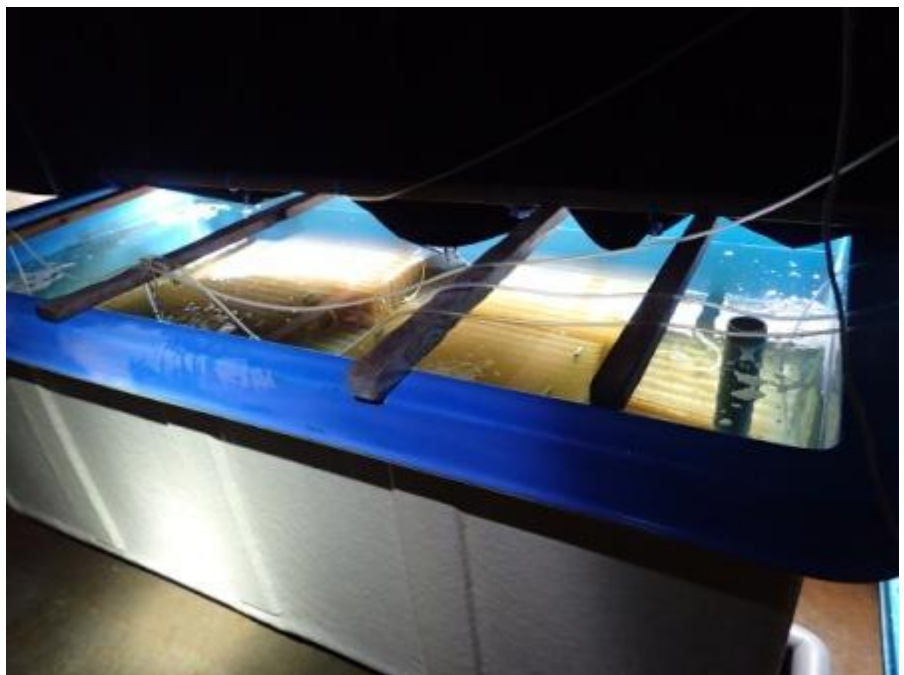


写真 2：稚ナマコの飼育水槽の様子

水槽内に茶色の板がたくさん敷き詰められており、その板上に稚ナマコが付着します。